

# 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 レック株式会社

コード番号 7874 URL <http://www.lecinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 光男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 増田 英生

TEL 03-5847-0600

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	15,963	7.9	1,165	107.1	1,249	67.4	684	100.2
21年3月期第3四半期	14,794	—	562	—	746	—	341	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	94.54	—
21年3月期第3四半期	47.59	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	23,466	17,913	76.3	2,436.95
21年3月期	20,856	17,848	83.7	2,429.35

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,913百万円 21年3月期 17,447百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
22年3月期	—	20.00	—		
22年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	10.1	1,160	156.8	1,240	113.4	730	158.5	100.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 一社 (社名 ) 除外 1社 (社名 レック(株) )  
(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	7,391,335株	21年3月期	7,222,835株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	40,686株	21年3月期	40,686株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	7,238,520株	21年3月期第3四半期	7,182,149株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページをご参照ください。

2. 当社は、平成21年10月1日付で連結子会社であったレック(株)を吸収合併し、商号をスルガ株式会社よりレック株式会社に変更いたしました。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各国の経済状況の回復を背景に持ち直しつつあるものの、企業収益の低迷、設備投資の減少及び雇用・所得情勢が悪化していること等により、依然として厳しい状況で推移しております。

一部業界においては経済対策の効果により個人消費は持ち直しの動きが見られるものの、当グループの属する日用雑貨品業界におきましては、消費者の節約志向による買い控えや価格訴求が強まったことによるデフレ状況が進行しており、メーカーのおかれた経営環境は非常に厳しいものとなっております。

このような環境の中、当グループにおいては、当第3四半期連結会計期間よりレックブランド及び製品の知名度向上を目的にテレビCMを開始するなど従来にない規模での広報活動を展開し、また、第1四半期連結会計期間より本格的に販売開始した紙衛生用品の拡販等に努め、業容の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は159億63百万円(前年同期比7.9%増)となり、為替が円高で推移したこと及び徹底したコスト削減を図ったこと等から営業利益は11億65百万円(前年同期比107.1%増)、経常利益は12億49百万円(前年同期比67.4%増)、四半期純利益は6億84百万円(前年同期比100.2%増)となりました。

事業の品目別の売上高の状況は、次のとおりであります。

当グループの事業は、平成21年10月1日付の合併を機に営業体制の強化・合理化を目的として、事業体制を従来の市場を軸とした体制から製品を軸とした体制へ変更しております。

これに伴い、事業部門区分を品目別区分に変更するとともに、前第3四半期連結累計期間の売上高を全て新たな品目別区分により算出して前年同期比較をしております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、洗濯用品、キッチン用品を除く各品目において前年同期実績を上回ることができました。特に、清掃用品はフローア・カーペット清掃用品が好調に推移したこと、ベビー・キッズ用品はおしりふき等の紙衛生用品を第1四半期連結会計期間より本格的に販売開始したことから対前年同期比で大幅な伸びとなりました。なお、当第3四半期連結会計期間よりデザイン家電・雑貨を取扱うプラマイゼロ㈱が連結子会社となりましたが、当該売上は「その他」に含まれております。

品 目	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半期比
	百万円	百万円	%
収納・インテリア用品	2,433	2,537	+4.3
サニタリー用品	3,155	3,274	+3.8
洗濯用品	1,810	1,801	△0.5
清掃用品	1,699	1,986	+16.9
キッチン用品	2,410	2,356	△2.2
ベビー・キッズ用品	817	1,078	+32.0
その他	2,465	2,928	+18.8
合 計	14,794	15,963	+7.9

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ26億9百万円増加し、234億66百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ19億43百万円増加し、145億78百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加10億94百万円、現金及び預金の増加7億14百万円、商品及び製品の増加1億7百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億66百万円増加し、88億88百万円となりました。主な増加は、投資有価証券の取得等による投資その他の資産の増加7億8百万円であり、主な減少はのれんの償却等による無形固定資産の減少1億12百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ25億45百万円増加し、55億53百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億76百万円増加し、26億96百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加1億74百万円、未払法人税等の増加95百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16億69百万円増加し、28億57百万円となりました。これは主に、社債の増加12億82百万円、プラマイゼロ㈱の株式取得及び連結子会社であったレック㈱(以下、旧レック㈱という。)の合併による負ののれんの増加4億12百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、179億13百万円となりました。主な増加は、利益剰余金の増加2億53百万円、旧レック㈱の合併に伴い株式を新規発行したことによる資本剰余金の増加1億59百万円であり、主な減少は当該合併による少数株主持分の減少4億円であります。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7億14百万円増加し、36億47百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は8億4百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益12億51百万円、減価償却費5億64百万円、棚卸資産の減少額1億26百万円、のれん償却額1億17百万円等による増加と、売上債権の増加額9億18百万円、法人税等の支払額5億円等による減少であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は12億72百万円となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還による収入5億円等による増加と、有形固定資産の取得による支出5億90百万円、投資有価証券の取得による支出5億56百万円、有価証券の取得による支出5億円等による減少であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は11億95百万円となりました。これは、社債の発行による収入16億75百万円等による増加と、配当金の支払額3億86百万円、社債の償還による支出1億6百万円等による減少であります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成21年5月1日に発表いたしました平成22年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

前期末において当社の連結子会社であったレック㈱(以下、旧レック㈱という。)は、平成21年10月1日をもって当社(旧スルガ㈱)を存続会社とし、旧レック㈱を消滅会社とした吸収合併により消滅いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,938	3,223
受取手形及び売掛金	5,756	4,662
有価証券	500	499
商品及び製品	3,055	2,947
仕掛品	138	106
原材料及び貯蔵品	481	509
その他	723	697
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	14,578	12,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,254	2,329
その他(純額)	2,909	2,763
有形固定資産合計	5,163	5,093
無形固定資産		
のれん	490	608
その他	223	218
無形固定資産合計	714	826
投資その他の資産		
投資有価証券	2,189	1,512
その他	859	842
貸倒引当金	△38	△53
投資その他の資産合計	3,010	2,301
固定資産合計	8,888	8,221
資産合計	23,466	20,856
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	800	625
短期借入金	82	—
未払法人税等	357	261
賞与引当金	127	189
その他	1,329	743
流動負債合計	2,696	1,820
固定負債		
社債	1,842	560
退職給付引当金	329	302
役員退職慰労引当金	261	284
負ののれん	412	—

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
その他	11	41
固定負債合計	2,857	1,187
負債合計	5,553	3,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,403	4,403
資本剰余金	6,021	5,861
利益剰余金	7,859	7,605
自己株式	△226	△226
株主資本合計	18,058	17,644
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△37	△128
繰延ヘッジ損益	13	30
為替換算調整勘定	△120	△99
評価・換算差額等合計	△144	△196
少数株主持分	—	400
純資産合計	17,913	17,848
負債純資産合計	23,466	20,856

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	14,794	15,963
売上原価	10,056	10,483
売上総利益	4,738	5,480
販売費及び一般管理費	4,175	4,315
営業利益	562	1,165
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	20	20
負ののれん償却額	108	21
為替差益	25	41
助成金収入	—	17
その他	20	13
営業外収益合計	185	126
営業外費用		
支払利息	0	13
社債発行費	—	24
その他	0	4
営業外費用合計	1	42
経常利益	746	1,249
特別利益		
固定資産売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	0	1
保険解約返戻金	—	13
特別利益合計	0	15
特別損失		
固定資産除却損	0	13
投資有価証券評価損	—	0
会員権評価損	0	—
貸倒引当金繰入額	0	0
特別損失合計	1	13
税金等調整前四半期純利益	744	1,251
法人税、住民税及び事業税	419	591
法人税等調整額	△37	△42
法人税等合計	382	548
少数株主利益	21	18
四半期純利益	341	684



(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	744	1,251
減価償却費	522	564
のれん償却額	45	117
負ののれん償却額	△108	△21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△111	△69
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	26	27
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20	△22
受取利息及び受取配当金	△30	△32
支払利息	0	13
社債発行費	—	24
為替差損益 (△は益)	3	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△313	△918
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△305	126
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△24	35
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△40	9
仕入債務の増減額 (△は減少)	295	68
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9	92
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	80	56
その他	13	△43
小計	830	1,271
利息及び配当金の受取額	29	26
利息の支払額	△0	△6
法人税等の支払額	△174	△500
法人税等の還付額	63	—
その他	2	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	751	804
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△227	△227
定期預金の払戻による収入	227	227
有価証券の取得による支出	—	△500
有価証券の売却及び償還による収入	1,000	500
有形固定資産の取得による支出	△1,604	△590
無形固定資産の取得による支出	△45	△31
投資有価証券の取得による支出	△285	△556
子会社株式の取得による支出	—	△88
出資金の払込による支出	△239	—
その他	△1	△5

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,175	△1,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,400	682
短期借入金の返済による支出	△900	△626
長期借入金の返済による支出	—	△43
社債の発行による収入	—	1,675
社債の償還による支出	—	△106
配当金の支払額	△358	△386
財務活動によるキャッシュ・フロー	141	1,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△290	714
現金及び現金同等物の期首残高	4,092	2,932
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	240	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,042	3,647

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。